

これから就職するお子様の保護者のみなさまに知ってほしい

建設業は、より働きやすく働きがいのある職場に進化しつつあります!

昔 **3K**



いま **新3K**

給料が良い
休暇が取れる
希望が持てる



建設業の現在

業界では、建設産業従事者の高齢化による担い手不足が懸念されており、次世代の担い手確保が重要視されています。こうした状況を踏まえ、担い手確保のための働き方改革などが急速に進んでいます。

大きな方向性として、

- ✓ 週休2日制による休日の確保
- ✓ 作業の効率化・生産性の向上の取組 (ICTの活用)、業務の簡素化による時間外労働の低減
- ✓ 労務単価等の引き上げによる賃金水準の向上 など

これらの取組により、建設業界は大きく変革を遂げ、働きやすい環境になってきています。近年は、異常気象による自然災害が頻発しており、インフラ(社会基盤)を整備維持・管理する「地域の守り手」という面でも建設産業が注目されつつあります。

●ICTで変わる建設業界

ICTとは、「Information and Communication Technology」の略称で、IT技術の中でもコミュニケーション・情報共有の技術を中心に指す言葉です。「ICT化」によって、業務の効率化と人手不足の解消、生産性の向上につながる事が期待できます。

建設業界におけるICT化は、ICT建機による自動施工はもちろんのこと、ドローンを使った測量、スマホやタブレットを用いた図面や工数の確認、映像システムを用いた遠隔での業務指示など多岐にわたっています。例えば、今まで現場と事務所を行き来していた監督者が映像で進捗の確認を行うことで、仕事の効率化を図ることができます。

また、現場でのちょっとした図面の確認も紙ではなくデジタル端末で行うことで修正や情報の共有が迅速に行われています。



建設業界の未来は明るい!



ガテン系ではなく
インテリ系

予想するほど、肉体労働ばかりでなく、書類作成などのデスクワークがあります。ICTを活用して作業の効率化が図られています。意外とデジタル要素多め!

チームで仕事&安定した
やりがいのある仕事

現場はたくさんの人が関わっています。また、建設業は、道路、橋梁、住居、トンネル、ダムなど、「未来に残るモノづくり」を担う、なくてはならない存在です。

とにかく安全第一

現場では厳しいことを言われたり、怒られることもあります。しかし、それは安全のための優しさ。ケガや事故の起きない作業環境づくりのために気を抜くことはありません。

手に職がつく!

例えば、「土木施工管理技士」「建築施工管理技士」のように、建設業では現場で経験を積みながら多くの資格や免許を取得することができます。従業員の資格取得を支援する会社も多くあります。

長時間労働NG

建設業は公共事業を請け負うことも多く、法令遵守です。現在では、4週8休を宣言して現場に取り掛かることも当たり前になっています。

きれいな現場

きれいな現場環境で働くことを大切にしています。現場でのトイレや更衣室、事務所の設置がガイドラインに定められており、女性も安心して働ける環境です。

●建設業界で取得できる資格(一例)

- ・土木施工管理技士
- ・建築施工管理技士
- ・電気施工管理技士
- ・管施工管理技士
- ・造園施工管理技士
- ・建築士
- ・電気工事士
- ・技能士
- ・登録基幹技能者
- ・技術士

インターシップに参加すると、「建設業のいま」を体感できます!



働きやすい職場を目指して

●働く環境(ある県内企業の場合)

週休 **2日(完全)** 年間休日 **123日** 賞与 **3回/年**

建設産業の世界でも働きやすい職場づくりの取組が進んでおり、例えば、「仕事と生活の両立応援宣言企業」や「働きやすい職場『ひなたの極』」の認証企業もあります。

仕事と生活の両立
応援宣言企業とは?



「ひなたの極」
認証制度とは?

